



東京多摩プロバスニュース

第 53 号

■事務局：〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行：広報委員会 2014. 3. 5.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

コミュニティプロバス・・・わが街・多摩を次世代へ

第 115 回 定例会

日 時：平成 26 年 1 月 8 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所：関戸公民館第 2 学習室

出席者：30 名(会員数 35 名)

第 116 回 定例会

日 時：平成 26 年 2 月 5 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所：関戸公民館第 3 学習室

出席者：29 名(会員数 35 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする

◇◇◇ ごあいさつ ◇◇◇

ふるさと多摩とプロバスライフ

総務委員長 神谷真一

私が移り住んだのは昭和 33 年、田んぼに囲まれた東京都南多摩郡多摩村関戸河原であった。家の裏に流れている多摩川には昔の渡船場の跡が残っていた。その上に釣り座を構え仲間と共に鮎釣りに熱中し、また時には多摩丘陵を歩くのが休日の楽しみであった頃を思い浮べると自然に涙があふれる。数年が経ち、多摩ニュータウンの建設が始まり、都内に勤めていた私は、一週間毎に変化する街の風景に驚くばかりであった。それから十数年後、東京多摩ロータリークラブの創立 35 周年の式典がパルテノン多摩のホールで開かれ、東京多摩プロバスクラブの誕生と会員が舞台で紹介された。10 年を振り返ると会員の年齢は増えてきたが当初からの面影は残している。多種多才な当プロバスクラブの会員は元気で楽しみながら大いに活動している。



今年も多摩ロータリークラブが主催している市内 9 校の中学生俳句大会が行われ、その作品が、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター AB 館 5 階連絡ブリッジギャラリー

に展示された。この俳句大会は 9 年間にも及ぶ東京多摩ロータリークラブの方々の活動と努力の賜物であり、心から敬意を表したい。そして当クラブが俳句選考などで少しでもお手伝いできたことを嬉しく思っている。

これらは、多摩市が進めている ESD 活動の一つで、当クラブの仲間たちは、現在その活動に協力している。

もうすぐ多摩周辺は一番美しい春が訪れる。聖蹟桜ヶ丘の地名のようにあちこちで花を楽しむ光景が見られるが、当クラブでもお花見会を毎年開いている。ふるさと多摩の美しさの中で仲良く楽しみ、そして学びたい。

“そよ風に花舞いおりて虎子おり” 虎子



美しい水仙と競演する桜並木(多摩市宝野公園)

1. 幹事報告

北村克彦幹事

- 1.1. 全日本プロバス協議会・関東ブロック交流会が、2月3日(月)八王子エルシーで開催され、当クラブから16名が参加。今年11月23日横浜で開催予定の全日本プロバス協議会総会のプレ総会という位置付けで開催され、鹿児島南・北九州・新潟などを含めて13クラブからの参加があった。ホストクラブとして東京八王子プロバスクラブの熱いおもてなしに一同満足の交流会でした。 関連記事右欄下
- 1.2. 八王子プロバスクラブから、2月27日(木)「第18回生涯学習サロン」開講式の案内を受けました。特別講話は、小河原正巳氏の「いま万葉集が面白い」です。
- 1.3. 横濱プロバス倶楽部から、交流会を企画したいので日程を決めたいとの申し出があった。横浜市内散策と昼食会で相互の親睦を深めるのが目的である。10周年記念事業関連の日程を考慮して調整したい。
- 1.4. 10周年記念式典の準備について臨時理事会を2月8日に開催し、各委員会が進めることを再確認した。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

神谷真一委員長

- 1) 1月度定例会(1月8日)
卓話：稲田興会員による「客家とは？」副題“客家を知らずして、中国は語れない” 関連記事P4参照
- 2) 2月度定例会(2月5日)
講話：熊谷健氏による「映像・演劇プロデューサーとして」 関連記事P4参照

2.2. 研修・親睦委員会

上田清委員長

「花見会の開催について」

4月3日(木) 唐木田駅集合とし、多摩センター駅までを桜見物しながら散策。京王プラザホテルにて昼食(バイキング)とする計画、詳細は3月の例会時に。



研修・親睦委員会の皆さん

2.3. 地域奉仕委員会

大澤亘委員長

- 1) 2月1日(土)ベルブ永山多目的ホールにおいて、多摩市教育委員会主催による「ESD(2050年の大人作り)参加企業・団体からの活動事例発表会」が開催され、当委員会より大澤・古澤両会員が出席傍聴した。

2) 第二回市民企画講座を開催

2月9日(日)午後2時より関戸公民館大会議室で創立10周年記念事業の一つとして、関戸公民館との共催による市民企画講座「温暖化と異常気象」と題する講演会を開催した。講師はNHKの天気予報でおなじみの村山貢司気象予報士。最近の異常気象と温暖化との関連を中心に、多摩市の状況を含めて将来の見通しまでを明確に説明された。あいにく前日の大雪で交通機関が乱れ、参加者は40数名にとどまったが、非常に説得力ある内容で示唆するところも多く、極めて有益な講演会であった。 関連記事P3参照

- 3) 吉岡喜久恵会員が2月25日(火)、東愛宕中学一年生を対象に「貝合わせ」の解説と実技を実施した。

- 4) 恒例の出前講座「そろばん教室」は、現在準備中であるが、多摩第二小学校で3月17~19日までの三日間実施予定。古澤会員を中心に支援部隊を編成し行う。

2.4. 広報委員会

平田哲郎委員長

- 1) 東京多摩プロバスニュース第53号(3月5日発行予定)の執筆協力をお願いした。
- 2) 創立10周年記念誌の頁割り付け案及び会員の執筆について、理事会の承認を受け、定例会で説明。
- 3) ホームページの定期更新を実施(1月20日)

3. 全日本プロバス協議会・第3回関東ブロック交流会

山田正司交流担当

節分の2月3日、八王子エルシーにて標記交流会が八王子プロバスクラブの全面協力により盛大に催された。わが多摩プロバスクラブからは増山会長以下16名が参加し、北は新潟、南は鹿児島から計13プロバスクラブ、総勢130名強にも及んだ。

午前11時20分、いきなりのピーと鳴る汽笛と楽曲「汽車ポッポ」の八王子プロバス・シニアダンディーズによる歓迎演奏から始まった。立川富美代会長代行の歓迎挨拶の後、改めて開会宣言があり、先ず故加藤会長への黙祷に始まり、荒ホストクラブ会長の挨拶、古賀全日本プロバス協議会副会長と中島八王子南ロータリークラブ会長の来賓挨拶と続き、参加クラブ会員紹介が各クラブ代表によって行われた。

続いて懇親会に移り、森山全日本プロバス協議会幹事長の乾杯発声の後、食事・懇談となった。14の丸テーブル(各10名くじ引き着席)での懇親の輪は大いに広がった。とりわけアトラクションの下田泰造八王子会員の「バナナの叩き売り」大道芸実演は秀逸で大喝采を博した。最後に再びシニア・ダンディーズによる送別演奏の中、立川会長代行のナレーション「またお目にかかりましょう」で散会となった。

当クラブ創立 10 周年記念事業の一つとして、多摩市関戸公民館と共催で市民企画講座の第二弾を、気象予報士でNHKの気象キャスターとして活躍された村山貢司氏の講演会「温暖化と異常気象」を2月9日(日)、関戸公民館にて開催いたしました。その要旨をまとめて報告させていただきます。 文責 大澤亘地域奉仕委員長

「温暖化と異常気象」

講師 村山貢司氏

1. 今回の大雪は上空 2000m の寒気が強かったため雨にならず大雪になったのです。この原因は温暖化で、このまま温暖化が進めば今回のような極端な現象が多くなります。温暖化は決して 100 年後の話ではなく、すでにいろいろ影響が出ているのです。



講演の村山貢司氏

2. 温暖化の原因は 300 年前からイギリスで始まった産業革命以来、石炭・石油などの化石燃料の使用が急増した影響で、二酸化炭素などの温室効果ガスが増加したためです。空気中の水蒸気は上昇して雲になるのですが、水蒸気の量は気温が上るにつれ増加するので雲が多くなり、雨や雪の量が多くなるのです。海水の温度も上っているので一層水蒸気が補給されるのです。水蒸気が雲になると地上で奪ってきた熱を放出するので、台風のエネルギーが大きくなったり、大雨になったりするのです。

3. 日本でこれまで一番大きな被害をもたらしたのは伊勢湾台風、一番大きな台風は第二室戸台風ですが、これ以上の台風は上陸していません。しかしこれは偶然であって、フィリピンや台湾ではこの 10 年間に 900 hPa(ヘクトパスカル)前後の巨大台風が上陸しています。このような台風が日本に上陸すれば東日本大震災のとき以上の被害がでると思います。

4. 温暖化が進むと、海水が膨張したり北極周辺の陸地の雪が融けて海面が上昇します。国連の IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の発表によると、2100 年には最大 90cm 上昇するとされています。南太平洋の「ツバル」は標高 1m ですから、国が水没する危険があります。このときには日本も影響を免れず、今のディズニーランドが東京湾の中になったり、陸地で液状化現象が起こったりします。これは、縄文時代には埼玉県を越え群馬県あたりまで東京湾が入りこんでいたため(縄文海進)、現に 3.11 のときは入間市でこの現象が起きました。

5. 今、地球は氷河期に入っているので温暖化などは起こっていないという学者が少数ですがいます。しかし、これは早くても 1 万年後の話であって、温暖化は 100 年後の話ですから時間の単位が違うのです。

6. 100 年後の日本は全国平均で気温は 3℃上昇すると予測されています。9 月、10 月まで真夏日があるのは当たり前、東日本の太平洋沿岸では猛暑日も 10 日は増えます。

九州では紅葉が新年になってからということが起こっています。桜も入学時ではなく卒業時が開花の時期となっています。みかん栽培も秋田や宮城が適地となります。雪も大幅に減少するため利根川上流のダムの水が減って関東地方の水がめの危機となります。2100 年に起きることがすでに 2004 年に 1 回、2010 年にも 1 回起きているのです。これが 4 年に 1 回、3 年に 1 回となり、2100 年には毎年起きようになるのです。決して 100 年後の話ではないのです。

自治体はハザードマップを作っています。多摩市の場合、ハザードとは多摩川の決壊を想定しており、乞田川や大栗川の氾濫などは想定されていないのです。実際に大雨で多摩川の水量が増えると、これらの中小河川からの水が流入できなくなり、合流地点が氾濫する可能性があります。ハザードマップの利用にも限界があるのです。7. これ以上二酸化炭素の排出を増やすのを止めましょう。それによって温暖化は止まりませんが今のままに推移します。次にいままで出た分は減らすことです。それを行うのは植物であり、海なのです。海の生物を大切に、植物を成長させることが大事です。

8. 2005 年に当時の石原知事が花粉症になったこともあって、東京都の花粉症対策は自治体のなかでは一番進んでいます。「花粉の少ない森づくり運動」を始めて、この 10 年で 1000 銘柄のスギを花粉の少ないものに植え替えました。公共の建物に木材を使うときは多摩のスギを使えということになっています。

最近のニュースですが、今年度中に花粉症の治療法として「舌下免疫療法」が保険適用で利用可能となる予定です。これは毎朝舌の裏に抗原エキスを垂らし 2 分間溜めておくというもので、これにより一部の人は花粉症が治り、大部分の人は花粉症の症状が無くなったり、症状が軽くて済む、というものです。周囲に花粉症で悩んでいる人がいたら教えてあげてください。



興味深く聴き入る聴衆

映像・演劇プロデューサーとして 熊谷健氏
(日本映画テレビプロデューサー協会著作権委員会 副委員長)

お招きいただき有難うございます。本日は私自身のことについて取り留めの無いお喋りをさせていただこうと思っています。

生れは青森の野辺地で、子供の頃から映画が大好きで地元の小さな映画館で1日5本の映画を見ることもありました。

大学は弘前大学の野辺地分校に入り将来は教師になる予定でした。ところが学生時代に見た小津安二郎監督の「晩

春」と「東京物語」に魅了され上京し、小津安二郎監督とコンビの脚本家・野田高梧の教えを請うため、日本大学芸術学部に入編したのが、この業界とのなれそめでした。

大学4年の時に鎌倉の小津先生のお宅に強引にお伺いして知遇を得、卒業後ギャラも何もしないで小津先生の付け人兼助監督見習いとして「小早川家の秋」の撮影現場に通い始め



ポケットから出た
ウルトラマン

ました。ある夜のこと、小津先生の宿で開かれた助監督のメンバーの宴席で、洗髪原節子さんも同席し、助監督一人ひとりにお酒を注いでくれたことは、私にとって一生の思い出です。

その後、円谷プロに誘われて、テレビのウルトラマンシリーズを手掛けました。ウルトラマンは宇宙人ですが強い家族愛で結ばれており、地球を襲う怪獣も本当はやさしい心を持っています。また「西遊記」では当時全くの新人だった夏目雅子を起用しましたが、眼の輝きが印象的でした。

プロデューサーという仕事は、何も無いところにテーマを考え、人物を登場させ、登場人物に役割を与えてドラマを作ります。これは真っ白なキャンバスを前に何を描くかを考える絵描きに似ています。

私は今も演劇のプロデュースをしていて、色々な人達に出演をお願いしていますが、素人のお年寄りであっても自己表現の場が与えられると生き生きとして役作りに励んでいます。皆さんも演劇をやってみませんか？ とてもやりがいがある、きっと楽しいと思いますよ。

(文責：関根正敏会員)

「客家とは？」 稲田興会員

「客家」は“ハッカ(福建語)”と呼ばれ、「客人・よそ者」の意味であるが「中国のユダヤ人」などとも称される。元々の住処であった中原(中国文明発祥の地)を匈奴など騎馬民族に追われ、各地に散らばった生粋の漢民族である。現在は福建省や広東省を中心に、台湾や東南アジアにも多く居住している。

客家出の著名人には、朱熹、洪秀全、孫文、宋三姉妹、共産党指導者の朱徳、葉劍英、鄧小平、前台湾総統の李登輝、シンガポール元首相リー・クアンユーやゴーチョクトン、フィリピン元大統領コラソンアキノ、現大統領ベグニノアキノ、元タイ首相タクシンチナワットや現首相インラックチナワトラ、万金油やタイガーバームガーデンで有名な胡文虎等々そうそうたる名が連なる。

◇客家の精神と人の繋がり

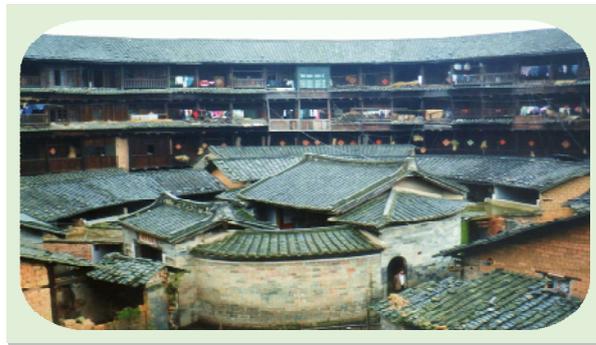
客家人は、①刻苦耐劳の精神 ②剛健弘毅の精神 ③創業勤勉の精神 ④団結奮闘の精神と4つの大きな精神的特徴を持ち合わせている。

客家は古くから、子供たちに知的資産を持たせることで、生きる力をつけさせようと、異常なほど教育熱心な親が多かった。また、先祖の族譜(家系本)を2千年以上にもわたり伝承として知っている。更に海外華僑たちが作っている「客家幫」は、海外華僑五大幫の1つでもあり、「世界客家大会」を2年に1度開催することでも知られる。

◇客家人の住む家(2008年世界遺産に登録)

囲籠屋と呼ばれる円形式・半円式・方形式などの共同住宅に住み、外敵から身を守るため外壁は堅牢で、外から中の様

子は分からない。居住建物と灌溉池とを有し、中心に先祖を祀る社を持つ。毎年春節時に、この地に戻っては同胞の安否を確認しあい、帰って行く。



円形式土樓の内部(4階建ての2階以上が住居、

中央が先祖を祀る社) 増山会員提供

◇二つの国を建国し、今でも華南経済圏を支援している

1777年ボルネオ島の西に羅芳伯が世界初の共和国を作り107年間統治した。また1965年その子孫のリー・クアンユーがシンガポールを建国し、治安重視で共産党を根絶させた唯一の国家を建設した。

一方、国内では葉劍英の人脈で発展した華南経済圏を息子の葉選平が引き継ぎ、海外の華僑の資金的後ろ盾を強固にし、北京に対抗して発展を続け、政治・経済・軍備すべてにおいて北京とは一線を画している。

華僑の投資に対する考え方には特徴があり、投資効率よりも人の繋がりや出身地を優先させる。しかもそのバックアップたるや、タイの最大財閥のバンコック銀行グループやインドネシアの最大財閥のサリムグループなど巨大財閥が多い。

◇◇◇ サークルの活動 ◇◇◇

1. 新年俳句会

増山敏夫会員

恒例の「からまつ」東京新年俳句会が1月10日関戸公民館で行われた。4回目の参加である。参加者は47名、俳句会からは、池田、稲田、岡野、神谷、川久保、倉賀野、鈴木、蓮池夫妻、西村、登坂、増山の12名。

遊芸としての俳句の新春の遊びで沢山の賞品が用意される。要領は経験済み。事前に投句してあった2句ずつ（今年の兼題は「初夢」「新年の句」）を世話役がランダムに並べた約100句（無記名）の一覧表が配られ、一人5句（内1句は天賞）を選句、投句箱に入れる。選者名と該当句が抜講によってすべて読み上げられていく。47×5句、トータル235句を読み上げるのだから大変である。そして作者ごとの2句の得票を合算、順位が決る。

わが俳句会は倉賀野志水さんの1句が得票・天賞とも最多、2句合算で2位、一人気を吐いた。選句者からの天賞のプレゼントを積み上げ、笑いが止まらぬ様子だった。この他、鈴木透水さんの1句が雪二主宰の特別賞（天賞）を獲得。また、主宰が挨拶で神谷猛虎さんの初夢・「六甲嵐」の句を取り上げ、「猛虎さんの初夢にあやかり、今年はタイガースが優勝する！私も熱烈なタイガースファンだからそう思いたい！…そして猛虎さんが俳号も虎子と改めることになった」と紹介され、爆笑の締めとなった。実は私も、お二方に劣らず古いタイガースファンである。頑張れタイガース！

八十路なほ賭ける夢あり冬の虹 志水
いま風が落とした紅葉踏んで行く 透水
初夢の六甲嵐大合唱 猛虎改め虎子



2. 多摩市中学生俳句大会展示会

神谷真一会員

東京多摩ロータリークラブ主催の第9回多摩市中学生俳句大会の作品が1月23日～29日まで京王聖蹟桜ヶ丘SCAB館5階連絡ブリッジギャラリーに展示されました。

2500余句のうち、最終選考を通った295句の自書の短冊

が、中学校ごとに展示され、休日には父母と共に生徒たちが見学に訪れ、自分の作品に見入っていました。

本大会の一次選考には当クラブの俳句会が携わっております。



展示会場

3. 歌を楽しむ会

瀬尾日出夫会員

1月24日にコミュニティセンター「関・一つむぎ館」に14名が参加し、今年の歌い初めとなりました。

今回より少々グレードを上げ？課題曲の中から「バラが咲いた」「旅人よ」の2曲を選曲、二部合唱・二重唱として多少忘れかけていた繰り返し記号の歌い方、特に低音部の歌い方などに苦心、恐る恐る発声しながらも、どうか歌い上げた満足感？がありました。

時に精一杯声を出しみんなでコーラスを楽しむことは、なによりの健康保持となりますので、どうぞみなさん！多くの参加を期待しております。



◇◇◇ 会員の活動 ◇◇◇

多摩ダンディーズの出演コンサート 永田宗義会員

1月25日(土)に、コミュニティセンター「ひじり館」で開催されたサロンコンサートに、当クラブの中村昭夫会員を含め70歳を超えたシニアメンバー4名の男声カルテット「多摩ダンディーズ」が出演しました。第一部では、30～40年前のヒット歌謡曲を中心に8曲を、第二部では、ハワイアンをはじめ懐かしいいろいろなメロディの8曲を聴かせていただきました。大変息の合った歌声で素晴らしいハーモニーが心に

響き、青春時代を思い出させ、至福のひと時を過ごすことができました。



◇◇◇ ハッピーバースディ ◇◇◇



誕生日を迎えられました
写真左；左から1月誕生の堀内陽二
・ 稲田興の各会員

写真右；左から2月誕生の山田正司
・ 鴻池敬和・古澤靖雄の各会員



◇◇◇ 私と多摩ニュータウン ◇◇◇

轍を残そう！

中村昭夫会員

多摩ニュータウンは国家プロジェクトとして建設され、昭和 46 年頃から入居が始まりました。住民の大半は他の地域から移住してきた人達です。この街を故郷としている人達は 20%弱とのことです。住民のほとんどの人達は給与所得の職業人達で、まさにベッドタウンとなっています。当時はこの街の住民は団地族という新しい名称で呼ばれ、整備された集合住宅や部屋の内部は、まさに現代的な居住として紹介され憧れの街であったようです。このように、多摩ニュータウンは全国的にも特異の街としてスタートしました。

私は多摩ニュータウンに住んで約 30 年が経ちました。当時はまだ現役のサラリーマンであったため、この街はまさに寝るための場所であり、仕事も忙しかったこともあって地域への関心は殆どありませんでした。

15 年ほど前に、多摩市コミュニティーセンター「ひじり館」の役員の方から経理を見てほしいとの要請を受け、ひじり館との係わり合いができました。併せて、会社の転勤で海外に住んでいた経験から国際交流にも関心がありましたので、多摩市国際交流センターを訪ね、どのような活動をしているのかを聴取して参加することにしました。また、大学時代にやっていた男声合唱にも興味がありましたので、18 年程前に多摩男声合唱団にも参加しました。これらの活動を通して地域との触れ合いのスタートができました。

そして東京多摩プロバスクラブの設立に参加でき、それ以来プロビアンとして新しい活動をして、この 5 月に創立 10 周年式典・祝賀会を予定することになりました。

このように幾つかの団体に所属することによって、サラリーマン時代とは全く異なった活動ができるようになり、これらを通して多くの他分野の方々と知り合いになりました。また活動を通して多摩市役所とのコンタクトもでき、市の各部門と折衝ができる機会を得ました。現在では、更に拡大して趣味の音楽活動としてポップスバンド「タマピカル」、男声カルテット「多摩ダンディーズ」を立ち上げて、ボランティアで高齢者施設を軸に演奏活動も行っています。これらの活動によって地域の人から「素晴らしい活動ですね」「とても良かった」など、賛辞をいただき次への原動力になっています。

プロバスの活動や地域活動・音楽活動を通して多くの方々と接触でき、その中で感じているのは、多摩市は人材の宝庫だということです。職業人として様々な分野で活動されてきた方々が、色々なキャリア・経験・技術などを持っており、まさに人材には事欠きません。この貴重な人材を活用していけば素晴らしい成果が達成できるのではないかと思います。市内にある各種団体が人材の活用に注力して市と協同してゆけば、多摩市に大きな恩典をもたらしてくれるのではないかと。先ず、当クラブでこれを取り上げて市と協同して市がプラスになるようなものを創り出していけたらと思います。

ある著名な方の言葉で私の座右の銘は「こうとしか生きようのない人生がある。せめて消えない轍を残そう」である。東京多摩プロバスクラブとして多摩ニュータウンの中に「消えない轍」をみんなで残したいものです。

◇◇◇東京多摩プロバスソング◇◇◇

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

昔から「年寄りの 1 年は早い」と言われているが今年には特に早いようだ。あるフランスの学者の説によれば、5 歳の 1 年は 5 分の 1 の速さ、50 歳の場合 50 分の 1 の速さであるとのこと。さしずめ 90 歳の筆者の場合は 90 分の 1 の素晴らしい速さで 1 年を過ごすこととなる。

今年は 2 月に「関東地区ブロック交流会」5 月に当クラブの 10 周年記念行事、さらに 11 月に「全日本プロバス協議会第 6 回総会」と、大きなプロジェクトが目白押しで 90 分の 1 の速さに一段と拍車がかかりそうである。

わが広報委員会も、当面、5 月の 10 周年記念行事関係の作業で忙しくなりそうだ。

(広報委員長 平田哲郎記)